

月にみがきて

No. 18

H23.1.11
学校だより
更級小学校

2011年「まとめの3学期」がスタート

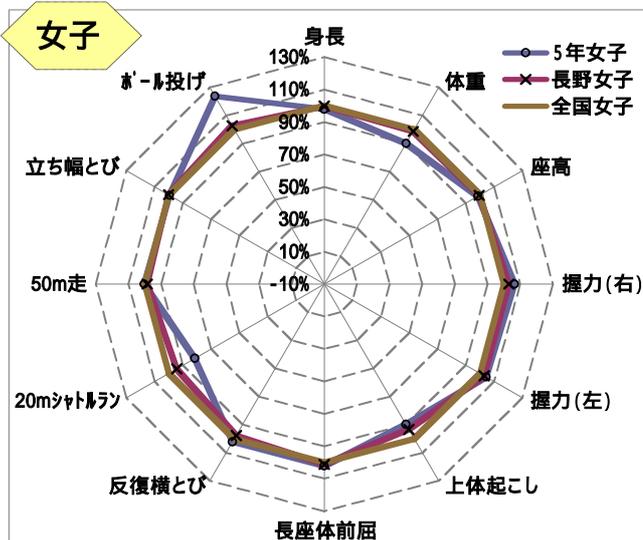
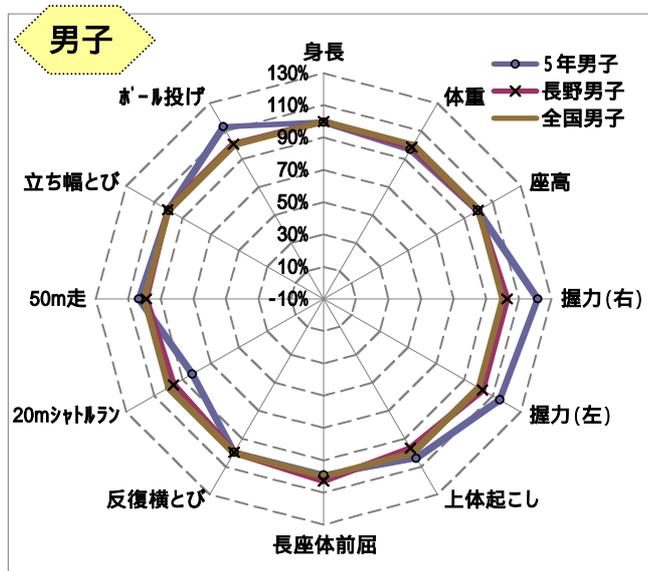


成人の日も過ぎてからの3学期スタートになりましたが、氷点下の中、子どもたちは元気に登校してきた朝でした。始業式では新学期の決意を発表してくれました。

始業式には、その学年の勉強はその学年のうちにマスターしようとして「まとめの3学期」として話をしました。「自分から学習する人」になる。覚えるための「漢字」の練習方法などです。まじめに教室で学習する子が多い更級小ですが、家庭学習も含めて、目当てをもって勉強に取り組む子となるように願っています。

更級小,子どもたちの体力・運動能力は？

10月の学校だよりでお伝えした体力・運動能力調査の結果が届きました。体育係から早速分析の報告がありましたので、簡単ですがお伝えします。全国の5年生の平均、長野県の5年生の平均と比較して考察しました。以下のグラフは全国平均を100%としてデータを換算しています。外側へ行くほど全国平均より優れ(大きい)、内側へ行くほど劣る(小さい)こととなります。まずは、5年生の結果です。



“ボール投げ”, “握力(男子)”が突出

長野県男子平均はほぼ全国並み、女子はシャトルラン、上体起こしが全国と比べて低めで、更級小女子も同じ傾向になっています。「シャトルラン」は20mを体力が続くまで時間内に行き来する持久走で、運動の持久力を測る目安になります。男女ともに更級小は低いですが、今回「シャトルラン」は初めての取り組みだったこともあり、終了がわかりにくく、ペース配分がしにくいなども結果の低い理由に思えました。もちろん運動の持久力アップは課題と思われます。一方で「男女のボール投げ」特に女子の結果と、「男子の握力」は全国に突出してよい結果です。

“育成会球技大会”で、子どもたちが伸びている

子どもたちの様子を見ていますと、5月に入ると地区ごとに練習が始まります。高学年を中心に3ヶ月にわたり、ドッジボール、ソフトボールとボールを投げる運動にどの子どもも取り組んでいることと、この結果は大いに関係していると思います。育成会の活動がこのような児童の体力アップにつながっていることに感謝したいです。

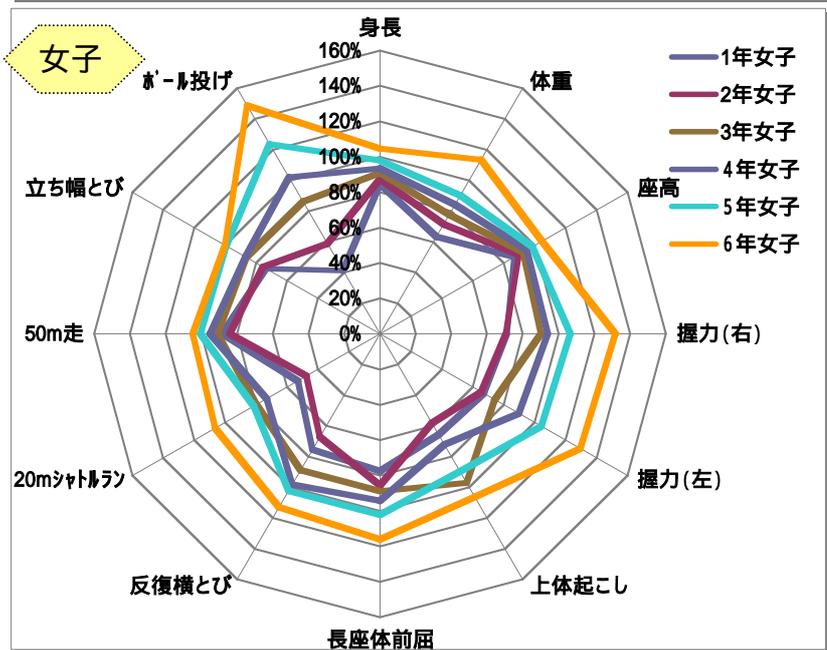
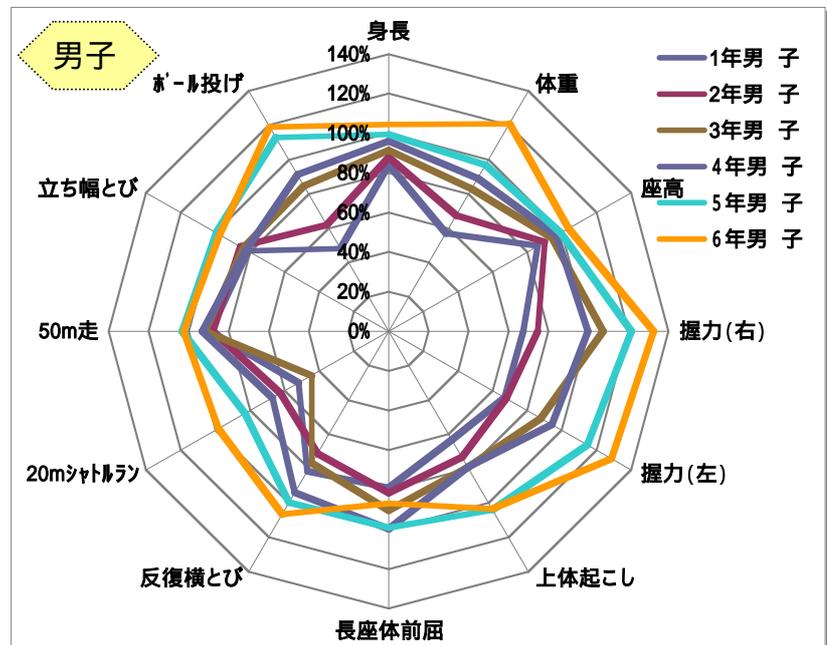
更級小の全学年の結果も全国5年生平均を100%とし、男女別にグラフ化してみました。右です。中心に近くが1年生で外側に向けて学年があがり一番外は6年生です。項目によっては下の学年が上回っているものもあります。

全校の結果分析からも

5年生の結果でふれたボール投げに注目すると、3年生を過ぎてから、急速に伸びているのがわかります。握力についても同じ傾向です。育成会の球技大会を機会として、子どもたちのボール投げや、握力が伸びているのではないかということが、ここでも裏付けられるように思います。シャトルランで測定される持久走も6年生は伸びています。

今後はこれらのデータを活かしながら、児童の体力と運動能力の向上を目指して、来年度の学校行事や学校生活を見直し、計画して行きたいと思います。

ボール投げについて更級小の結果がよいのは毎年の傾向ですが、思い当たることがあります。それは7月に行われる育成会の地区対抗球技大会です。



【ご家庭のみなさまへ】 12月末を持ちまして音楽を担当していました太田仁子先生が退職されました。それに伴い、井口先生は音楽の専科担当に戻り、3年2組は北村先生が継続して、3組は三澤先生が担任する体制で3学期の学校体制を組みました。皆様のご理解とご支援を引き続きお願いいたします。